

高耐久・次世代透湿ルーフィング材

# デュポン™ タイベック® ルーフライナー

## ⚠️ 保管及び施工上の注意

- 火や高熱物を近づけないでください。
- 強風下での施工は避けてください。
- 野地板表面の清掃は必ず行ってください。
- 滑りやすい靴での作業及び歩行は避けてください。
- 通気層を確保して施工してください。
- 施工後はすみやかに屋根材を施工してください。
- 屋根材の施工までに期間がある場合、ブルーシート等で養生してください。
- ご使用にあたっては、当社が提供するデュポン™ タイベック® ルーフライナー施工要領に従って適切に使用してください。
- 不適切な施工により生じた問題には責任を負いかねます。

## ⚠️ 警告

- 表面が濡れているときは完全に乾くまで絶対に作業しないでください。滑り落ちる恐れがあります。

- 物性値、仕様及び標準寸法は、予告なく変更させていただくことがあります。
- 本カタログの内容についてのお問い合わせは、当社に直接お尋ねください。
- 本カタログに記載の数値は測定値であり、保証値ではありません。

デュポン™ タイベック® 総輸入販売元  
**旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ 株式会社**

〒100-6111 東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー  
 URL <https://www.tyvek.co.jp/>  
 ☎ 0120-300355 E-mail: Tyvek.Japan@dupont.com  
 デュポン™、デュポンオーバルマーク、並びに™、®、及び®表示のあるすべての標章は、米国デュポン社の関連会社の商標又は登録商標です。  
 Copyright ©2024 DuPont-Asahi Flash Spun Products Co., Ltd. All rights reserved.

DUPONT Tyvek For greater good.™



高耐久・次世代透湿ルーフィング

施工用途 屋根

優れた透湿性と高い耐久性を両立させたルーフィング材

デュポン™ タイベック® ルーフライナー

屋根の寿命は、屋根仕上げ材だけでなくルーフィング材の状態によって大きく左右されます。タイベック® ルーフライナーは、ルーフィング材の常識を変える優れた性能により、屋根の長寿命化に貢献するとともに、快適な居住空間を実現。また、作業の安全性も向上させます。



20年の実績と厳密な品質検査に基づき、10年保証を導入しております。お求めの際は、こちらのマークをお確かめください。

タイベック® ルーフライナー 3つの特徴

屋根の寿命を延ばす

野地板を素早く乾燥させ、腐朽菌の発生を防止します

小屋裏からあがった湿気を透過させるので、野地板の乾燥を促進させ、野地板の腐敗や変形を防止します。

結露の発生を著しく低下させます

優れた透湿性により、野地板とルーフィング間での結露発生を防止します。

耐久性に優れています

抜群の強度を誇る不織布デュポン™タイベック®を基材としているため、耐久性に優れています。

アルカリ、酸に強い素材です

ほとんどのアルカリ性や酸性成分による劣化を起こさないため、セメント瓦からのアルカリ成分や、酸性雨から屋根を守ります。



腐朽菌により老朽化した屋根

居住空間を快適にする

ホルムアルデヒドを素早く放出させます

建材・家具等に含まれるホルムアルデヒド等の有機性ガスを透過させ、室内にたまりにくくします。

小屋裏空間の快適性向上に貢献します

タイベック®ルーフライナーは、アスファルトルーフィングと比較して輻射熱の反射率が高く、夏場のロフト内の温度上昇を和らげます。



野地板表面温度測定 結果

試料	ルーフィングと野地板間の最高温度(°C)
デュポン™ タイベック® ルーフライナー	50
アスファルト ルーフフィング	55

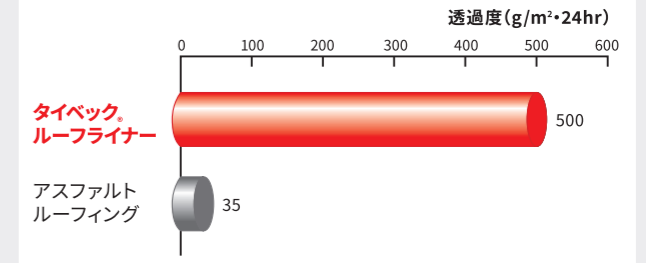
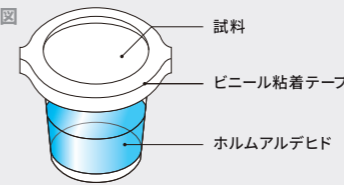
■実験棟における自社測定  
■測定時外気温:29°C(晴)  
■瓦表面最高温度:(測定時)64°C



ホルムアルデヒド透過性試験 結果(自社法)

デュポン™タイベック®ルーフライナーは、シックハウス症候群の原因とされるホルムアルデヒドを他の製品の10倍以上の速さで透過させることがわかりました。一定量のホルムアルデヒド液を入れ20°C、24hr放置後、その溶液の減少量を測定して透過度を算出しました。

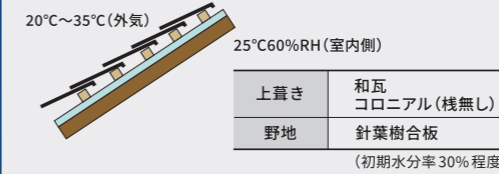
試験方法イメージ図



野地板乾燥性試験 結果

アスファルトルーフィングは、蒸し返しにより結露が発生。タイベック®表面からの乾燥が有効。初期含水率を30%に設定。木材の含水率が20%を超えた状態が長く続くと、木材を腐らせる腐朽菌の活動が活発になります。

野地の水分率変化を測定



野地板乾燥性実験(建材試験センター依頼第00A0265号)



作業が安全確実に

軽いので、作業効率がアップします

アスファルトルーフィングの約7分の1の軽さです。

優れた強度で、施工中の破れを防ぎます

アスファルトルーフィングの5倍以上の引裂強度を持っています。

滑り止め加工を施しています

表面と裏面に滑り止め加工を施しており、アスファルトルーフィングと同等以上の滑りにくさを有しています。

一年を通じて安定した作業が可能です

夏場・冬場でもシートの硬さが変わらず、夏場のべとつきや、冬場の立ち上げ部分の割れ等がありません。

きれいな現場環境を実現できます

施工時、作業者の靴・手袋・衣服などが汚れにくく、屋根材を汚しません。

よくあるご質問

Q 重ね部以外はタッカー禁止となっていますが、何故ですか？

A ルーフィング材の重ね部以外にタッカーを打った場合には、その上を人が歩行した時の加重により、タッカー穴が拡大し、そこから雨水が浸入するおそれが高まるためです。

Q テープは必要でしょうか？

A 縦目(ジョイント)部分や、打ち損じの場合の補修用として必要になります。

Q どんな勾配の屋根にも施工できますか？

A 原則的に3寸勾配以上の屋根でご使用ください。一部勾配が緩やかになる場合等はご相談ください。

Q 2009年10月からの住宅瑕疵担保履行法施行を受けて、住宅瑕疵担保責任保険ができましたが、タイベック®ルーフライナーを施工しても保険の適用が受けられますか？

A タイベック®ルーフライナーは、各保険会社が定める設計施工基準に適合する製品ですので、保険の適用を受けられます。

標準施工要領 ①

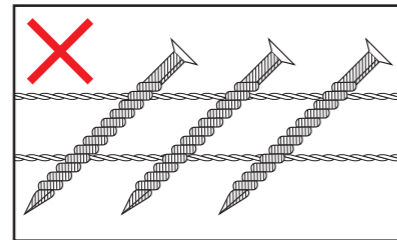
施工図は建築仕様によって異なる為、参考例となります。

1 施工上の留意事項

- (1) 原則として3寸勾配以上の屋根でご使用ください。
- (2) スレート(コロニアル)屋根及びシングル屋根へのご使用はお避けください。
- (3) 屋根葺き材と**デュポン™ タイベック。ルーフライナー**間の湿気排出のため、通気層等のスペースを設けてください。
- (4) 棟換気、小屋裏換気等の措置をとり、野地合板等の湿気を排出する工法としてください。
- (5) 粘着防水テープは**タイベック。ハウ斯拉ップテープ**又は、それと同等のアクリル系、ブチル系のテープを使用してください。ゴムアス系の粘着テープは使用しないでください。
- (6) 栈木の固定等で自動釘打ち機による、金属線で結束された釘(ワイヤネイル)は、釘に残るワイヤがシートを破きますので使用しないでください。
- (7) ステープルの打ち損じ(坐屈等)は、漏水の原因になるので、粘着防水テープ等で補修してください。
- (8) 野地合板等表面の清掃を必ず行い、突起が無いこと、表面が完全に乾燥していることを確認して作業してください。
- (9) **タイベック。ルーフライナー**に製造年月が印刷されていることをご確認ください。また、傷、破れ等がないかご確認ください。
- (10) ステープルは重ね部以外には打たないでください。もし打った場合は必ず粘着防水テープ等を貼って覆い隠してください。
- (11) 火や高熱物を近づけないでください。
- (12) 強風下での施工は避けてください。
- (13) **タイベック。ルーフライナー**施工後は、速やかに屋根材を施工してください。
- (14) 屋根材の施工までに期間がある場合、又は荒天が予想される場合はブルーシート等で養生してください。
- (15) 防腐・防蟻加工された栈木等は薬剤が十分に乾燥していることを確認してください。

⚠ 注意

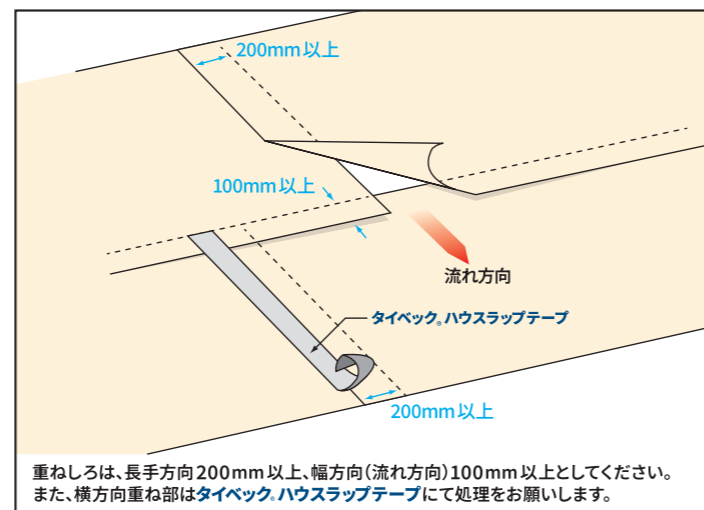
瓦栈木等の固定で、自動釘打ち機による金属線で結束された釘(ワイヤネイル)は使用しないでください。金属線がシートを破き漏水の原因になります。



2 施工方法 (参考例)

- (1) **タイベック。ルーフライナー**は桁行き方向に横張りしてください。
- (2) **タイベック。ルーフライナー**の重ね部は、長手方向200mm以上、流れ方向100mm以上とし、シワ、緩みのないよう張り上げます。長手方向の継ぎ目は接近しないように乱張りとし、長手方向の継ぎ目粘着防水テープを貼ります。(図1参照)

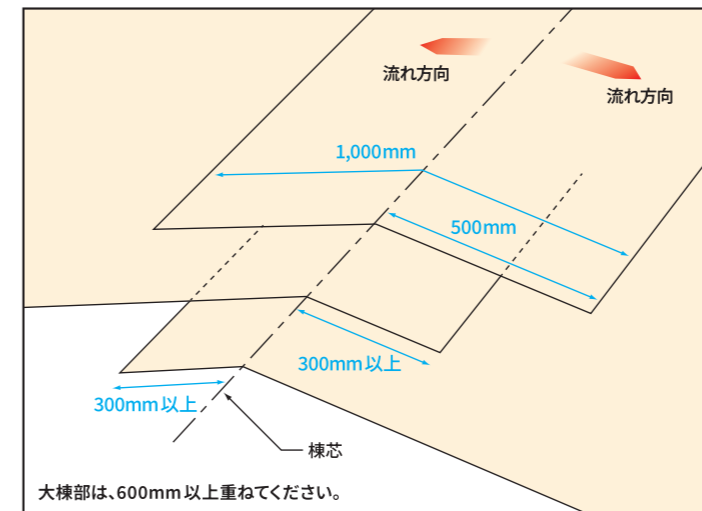
図1 一般部



重ねしろは、長手方向200mm以上、幅方向(流れ方向)100mm以上としてください。また、横方向重ね部は**タイベック。ハウ斯拉ップテープ**にて処理をお願いします。

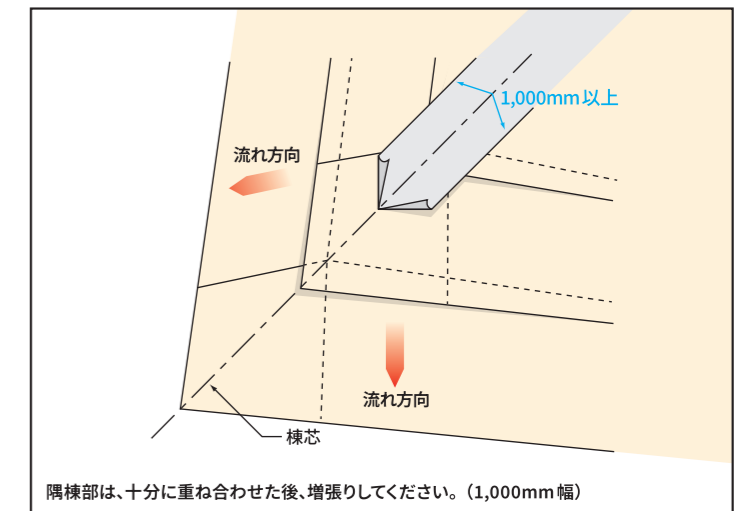
- (3) ステープルはシートの重ね部に打ってください。ステープルを打った部分は必ずシートを2重にするか、粘着テープを貼ってください。ステープルはステンレス製を推奨します。
- (4) ステープルの打ち込み間隔の目安は、シート上側を仮止めする場合は約200mm、その他は約300mmとします。
- (5) 瓦栈木等の施工は、流し栈工法や溝が加工された栈木を使用し、栈木に雨水等が滞留しないようにしてください。
- (6) 棟部(図2,3参照)  
大棟部においては、300mm以上ずつ両側折掛けとし、さらに**タイベック。ルーフライナー**(1,000mm幅)を棟頂部から左右へ折掛けるように増し張りします。隅棟部においても同様に増し張りしてください。

図2 大棟部



大棟部は、600mm以上重ねてください。

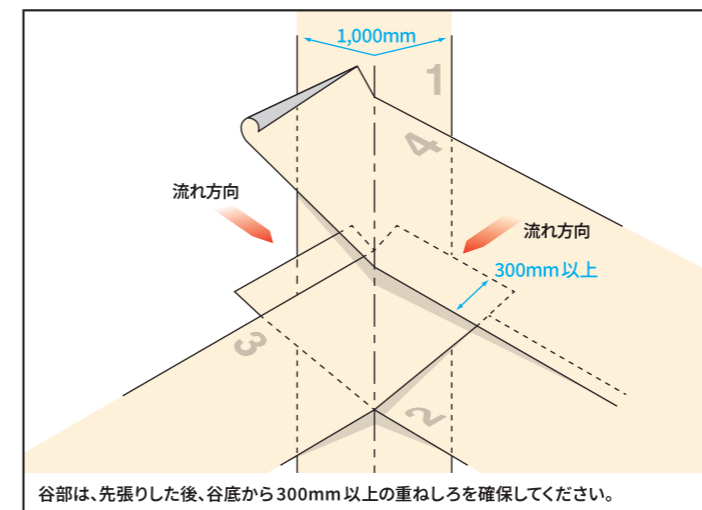
図3 隅棟部



隅棟部は、十分に重ね合わせた後、増し張りしてください。(1,000mm幅)

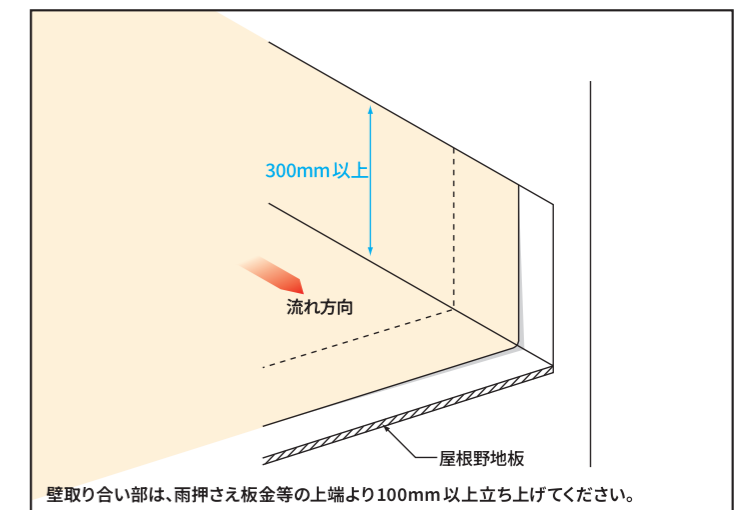
- (7) 谷部(図4参照)  
谷底から左右へ**タイベック。ルーフライナー**(1,000mm幅)を先張りし、その上から**タイベック。ルーフライナー**を左右に重ね合わせながら、谷底より300mm以上伸ばし施工してください。
- (8) 壁取り合い部(図5参照)  
シートを300mm以上立ち上げてください。(雨押さえ板金等の上端から100mm以上)

図4 谷部



谷部は、先張りした後、谷底から300mm以上の重ねしろを確保してください。

図5 壁取り合い部



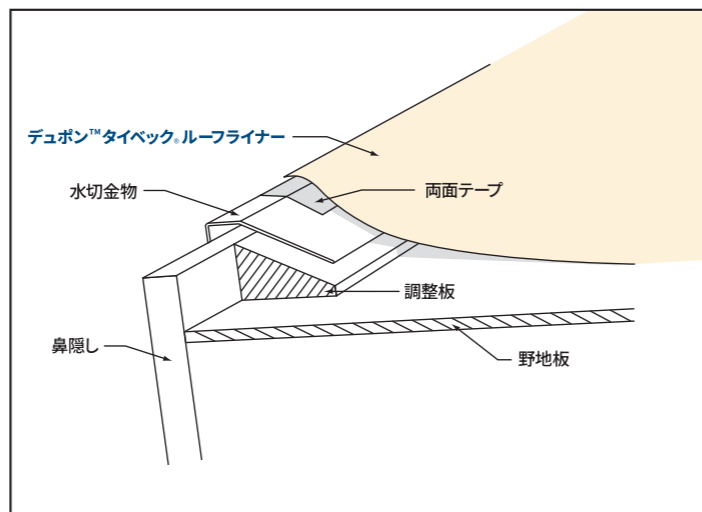
壁取り合い部は、雨押さえ板金等の上端より100mm以上立ち上げてください。

標準施工要領 ②

施工図は建築仕様によって異なる為、参考例となります。

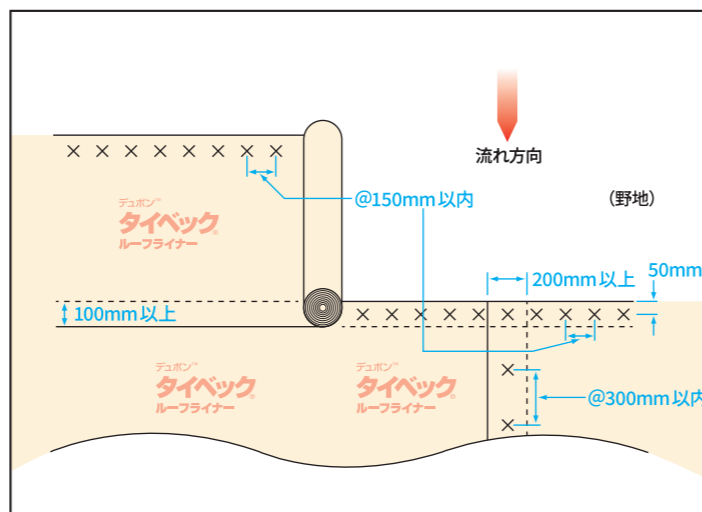
- (9) 軒先部 (図6参照)  
軒天水切金物の上に、**タイベック® ルーフライナー**を重ね、**タイベック® ハウスラップテープ**で密着させます。
- (10) ピンホールが出来るおそれがある箇所は、粘着防水テープ等で補強処理をします。

図6 軒先部



- (11) 仮留め (図7参照)  
仮留めステーブルは重ね部のみ使用してください。打ち損じ等で**タイベック® ルーフライナー**が破損した場合は、粘着防水テープ等で補修してください。

図7 仮留めステーブル釘 (流れ方向上端部固定位置)



3 シートの補修

穴傷や破れ等の大きさに応じて、粘着防水テープ等を使用したり、シート増し張りするなど、シート損傷箇所から雨水が入らないように補修してください。

4 その他の留意事項

- (1) **タイベック® ルーフライナー**は、滑り止め加工した茶色の不織布(防滑層)を表層面に、その下側に防水機能のある白色の不織布**タイベック®**(防水層)で構成されています。
- (2) 施工中、表面の防滑層に毛羽立ちや剥離が発生する場合がありますが、その下側の防水層**タイベック®**に損傷がなければ、防水性能に影響はありません。

規格

名称	サイズ/梱包単位	入数
デュポン®タイベック® ルーフライナー	幅1m×長さ50m	1巻/1箱

物性値

項目	測定値	試験方法(準拠)	
		縦	横
引張強さ(N/5cm)	516	JIS-L1096	
	355		
引張伸度(%)	16	JIS-L1096	
	17		
引裂強さ(N)	44	JIS-L1096(A-1寸)	
	44		
透湿抵抗(m <sup>2</sup> ・s・Pa/μg)	0.32	JIS-L1099(A-1寸)	
防水性(Kpa)	28	JIS-L1092(A寸)	
目付け(g/m <sup>2</sup> )	157	JIS-L1096	
厚み(mm)	0.4	JIS-L1096	

測定機関：デュポン株式会社 テクニカルサービスセンター

アクセサリ規格

名称	サイズ/梱包単位	入数
デュポン®タイベック® ハウスラップテープ	幅75mm×長さ20m	20巻/箱

